

育成会だより

2022年度 第1号

発行：認定 NPO 法人はばだけ手をつなぐ育成会

〒668-0031 豊岡市大手町7番9号

TEL：0796-24-3660

FAX：0796-34-6433

[E-mail] toyoteiku@tuba.ocn.ne.jp

[URL] <http://www.toyoteiku.com/>

編集 本部事務局 2022年6月30日

新年度を迎えて～理事長よりご挨拶～

6月19日第18回通常総会を行いました。

今年度は久方ぶりに、関貫市長様はじめご来賓の皆様をお迎えして、会員の皆様にも出席いただき開催させていただくことが出来ました。

当会では、コロナ渦で活動に様々な制限が課される中、「ピンチをチャンスに！」を合言葉に旅行やフェスタなどの活動は中止することなく続けてまいりました。またこの間、福祉サービス事業においては、出石特別支援学校卒業生や他施設から移行される新規利用者受け入れも進める中で、2019年12月に開設したグループホームも満床となり、通所施設も定員いっぱいの状況です。また、長年の懸案事項である医療的ケア児者及び重症心身障害児者のサービス基盤の充実は遅々として進まない現状です。

引き続き障害者団体として、当事者として、地域住民として、自助・共助の取り組みをできる限り進めていく所存です。会員・職員の皆様もともに、障害者が地域で当たり前、生き生きと暮らせる街の実現に向け邁進してまいりますので、ご支援ご協力いただきますようお願いいたします。

理事長 中井 佳与子



就労継続支援B型 すいーつより

日常生活、日中活動で利用者さんを見ていると、不安感やもどかしさのようなものを常に感じながら過ごされている様に見受けられます。思う様に気持ちを伝えることが難しい方、傷つきやすく落ち込んでしまう方に対して、具体的な言葉遣い、手話、文字、イラストを用いたりじっくりと相手のペースに合わせて、すいーつで過ごされる時間が少しでも、楽しく、安心できるものになるよう取り組んでおります。

約2年ぶりにトライやるウィークを受け入れることとなりました。お互いに、期待と不安の中スタートしました。交流を重ねるうちに、中学生の皆さんと利用者ともに打ち解け、充実した1週間になったように思います。これからも利用者さんが心穏やかに過ごし、笑顔がいっぱい美味しい焼き菓子を提供できるすいーつを目指してまいりたいと思います。

〈H〉



障害児通所支援事業 つくし より

新たに元気な小学生二名が利用者さんに加わり新年度がスタートしました。つくしが気に入り機嫌よく来所されるか心配しましたが、笑顔いっぱい元気に過ごされておりホッとしています。また、進級した上級生は新しく入った利用者さんにいろいろなことを教えて上げている微笑ましい姿も見られ頼もしいかぎりです。

さて、先日出石特別支援学校で通所支援事業所と学校との連携会議があり出席してきました。授業参観もあり、利用者さんの学校での様子を参観させて頂くことが出来ました。音楽の時間に各々楽器を持ち曲に合わせて楽しそうに合奏する姿や、美術の時間では薄紙を切り丸めて画用紙にのり付けするという工程を集中して取り組んでいる姿に驚きと同時に安堵しました。先生方も生徒さんに優しく寄り添い丁寧に指導されている姿が印象的でした。また、普段話す機会のない先生方、他事業所の方々と情報交換出来た事は有意義でした。

今後とも、ご家族、学校、他事業所の皆さんと情報共有し利用者さん一人ひとりに寄り添い安心していただけるように支援していきたいと思えます。

〈O〉

生活介護 じゃんぶ より

今年は、じゃんぶ・すい一つだけでなく、多くの事業において体制の変化に伴い、職員の配置換えを行いました。利用者さんの中には、この変化に、戸惑いなどもあったと思います。中でも、利用者さんがしっかりと生活できるように、サポートしていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

今年も八代水門に花見に行きました。その日は、良い天候に恵まれ、桜のピンク色の花卉と空の青さのコントラストが映えるほど良いお花見日和で、「見てえ〜」と利用者さんは嬉しそうに桜の花を見て回り、「写真撮って〜」と大いに楽しまれていました。

また、日吉神社へ散歩に行ったり、大師山キャンプ場へとお出掛け、とたくさん身体を動かし、全員で一緒に外に出て散策等が出来ました。利用者さんも喜んでおり、色々な所へ皆さんが行ける様にしていけたらなと思ひました。屋外活動だけでなく、室内での活動も幅広く取り組んでいます。アートでは利用者さんが作品を持参されたり、鯉のぼり作りや万華鏡作りに大いに取り組む事が出来ました。運動についても身体を動かす事に「これやりたい」・「あれがしたい」と利用者さん自ら積極的に取り組まれて、心身共に充実した日々を過ごしています。

〈K〉



生活介護 ほっと よい

新年度始まりは、天候にも恵まれ皆さん元気に過ごされました。新しく入って来られた利用者さんも帰り際には、「ほっとは、たのしいねえ～」と保護者の方に話されたり、終わりの会の振り返りでは、「たのしかった🍀」とみんなの前で発表されたりと、元気に通所されています。

今年の野菜作りは、塩津はピーマン・ミニトマト・なす・きゅうり・いんげん豆・絹さや・スナップエンドウとローズマリー



をプランターで育てています。それぞれ小さな実が付き始めました。いんげん豆の収穫は少しずつ始まっています。LAULAUの畑にはさつまいもを植えました。“早く大きくな～れ”と水やりをしたり草取りをしています。野菜の葉を食べる虫退治にも挑戦しました（頑張りました!!）。美味しい野菜を収穫できる日が待ちどおしいです。

おなじみの LAULAU 玄関正面のアート作品は、4月は桜と菜の花、5月は鯉のぼりと藤棚にと変わっていきました。6月は藤の花がみごとに紫陽花に変身しました🌸

塩津の利用者さんは、活動中の休憩で LAULAU に立ち寄り、バランスボールに座り好きな歌を歌いながら跳ねておられます。また職員とキャッチボールをしながら楽しいひと時を過ごされています。これからの季節、体調管理をしっかりしながら活動を楽しんでいきたいと思ひます。〈O〉

ヘルパーステーションはあと よい

ヘルパーステーションはあとでは身体介護・家事援助・行動援助・重度訪問介護・移動に関する支援を行っています。

～身体介護（入浴介助の一例紹介）～

利用前のアセスメントの結果、身体の特定の部位に他者の手が触れることが嫌い、換気扇やドライヤーの音を嫌うため拒否したり動けなくなるかもしれない等のお話をお聞きしました。

そのため、個々のヘルパーが同一の介助ができるように手順書の作成を行い、それに沿って対応することになりました。数ヶ月が経ち徐々に慣れてこられた様子も見られています。

その日の気分や体調でこだわり行動が出現する場面もありますが、声かけ・サインで伝えていき気持ちを切り替えて行動し、入浴できる日が増えてきています。

今後もその方にあった方法で安心して入浴して頂けるようヘルパー間で連携しながら対応していきたいと考えています。

〈A〉



グループホーム OHANA よい



グループホーム OHANA は「あお-1」「あお-2」「にじ-1」「はるぞら」とあり、その中でもはるぞらは自分らしい生活や自分に合った暮らしを探し、自己選択を重視した、グループホームとなっています。

4月からはるぞらに勤務することとなり、初めは慣れないことも多く、利用者さんに教えてもらうこともありましたが、今はずいぶんと慣れ、スムーズに業務を行っています。また日中では見られない利用者さんの新しい一面があり、支援の方法が日中とは異なると実感しています。

日中職員やヘルパー職員との連携を強化し、より良い支援が出来るよう進めるとともに、利用者さんが自宅のように安らげる場所になるよう、職員一丸となり、OHANA の名前のように皆が家族のように暮らせるような環境を作っていきたいと考えております。

〈M〉

本人部会

育成会では月1、2回程度本人部会を開催し、利用者さんや会員さんのレクリエーションの場を設けています。

5月の本人部会では竹野子ども体験村に行ってきました。竹野子ども村ではピザづくり体験・フォトフレームづくりなど、普段できない体験をさせていただきました。



ピザづくり体験では、自分で作ったピザを食べ、手作りのおいしさを実感。フォトフレームづくりでは、どんな写真を飾ろうかと考えながらオリジナリティのあるフォトフレームを作成しました。

作成後海の近くまで行き、砂浜を散策しました。とても笑顔あふれる時間でした。

〈O〉

スポーツ大会

6月25日（土）に豊岡市立総合体育館でスポーツ大会を行いました。

玉入れ、大玉運び、綱引き、カップル探しゲーム、障害物借り物競争など、とても盛り上がりみんなでいい汗を流しました。



〈O〉

編集後記

梅雨になり、蒸し暑い日々が続いております。天気も変わりやすく体調を崩しやすいです。コロナ感染に気を付けながら体調管理をしていきたいです。〈O〉